

行動規範

EMEA地域

MITSUBISHI
CHEMICAL
GROUP

目次

経営陣からのメッセージ 3

コンプライアンスの在り方と実践 6

Our Way: 私たちが掲げる理念 8

誠実
法令および社内規則を遵守する 10
利益相反 11
贈収賄および汚職に対する不寛容 11
公正な競争（独占禁止） 12
インサイダー取引 12
マネーロンダリング対策 13
政治活動、ロビー活動、慈善寄付およびスポンサーシップ 13
正確な記録の保持 14
対外コミュニケーション 14

尊重
人権を尊重する 15
他者を尊重する 16
データの保護およびプライバシー 16

自分事
自分事として取り組む 17
安全 18
知的財産を含む企業資産の保護 19
製品の品質 19
製品管理およびレスポンシブル・ケア 20
環境への責任と持続可能性 20
輸出管理 21
第三者との取引およびサプライチェーン 21
政府機関からの照会 22
行動規範の理解と実践 22

果敢
違反の疑いに関して声を上げ報告する 23

共創
共に実践する 24
コンプライアンスの実現に向けて 25

何か気になることはありませんか？ 26



CEOからのメッセージ
築本 学

コンプライアンスとは、単なる言葉や従うべき一連の規則ではありません。コンプライアンスは、ビジネスの観点から企業を守り、成長させるものです。それは組織全体の戦略的ガバナンスに寄与し、現在および将来の顧客、投資家の方々に信頼をもたらします。

安全とコンプライアンスは、当社の存続を支える基盤です。コンプライアンス違反が発生すれば、三菱ケミカル全体の社会的信用が損なわれ、市場やお客様からの信頼を失うことになります。

あらゆる企業のコンプライアンス・プログラムの重要な目的は、会社とその従業員を守ることにあります。知識を持つことが第一歩です。各従業員は、不正行為に関与したり、見過ごしたりしないよう、強い意識と高い感性を持ち続けなければなりません。

経営陣と従業員間のコミュニケーションを改善することは、職場での問題解決や提案を行う上で有効です。全員がコンプライアンスのルールを理解すれば、会社のより大きな目標に集中し、業務が 円滑な運営に貢献できるようになります。コンプライアンスについて適切な研修を受けた従業員は、違法または非倫理的な行為を認識し、報告する可能性が高くなります。不正行為に気づいたり、疑念を抱いたりした場合に、従業員が躊躇することなく声を上げられるような組織風土を醸成することが不可欠です。

企業のコンプライアンスを徹底することで、従業員は業務を遂行し、キャリア目標を達成し、顧客を満足させることができます。その結果、会社も目標を達成し、より速く成長することができるのです。

築本 学
最高経営責任者



> EMEA地域向けの行動規範は、私たちがどのような存在であるか、私たちが何を重視し、日々どのように事業を展開していくかを体現しています。

当地域全体において、私たちの成功は、信頼、誠実さ、そして相互尊重という基盤の上に築かれています。これらの価値観は単なる選択肢ではなく、私たちのアイデンティティそのものであり、顧客、パートナー、規制当局、そして同僚が私たちを評価する基準でもあります。

EMEA全域における当社の事業環境は多様かつ複雑であり、多くの法域、文化、規制の枠組みにまたがっています。本行動規範は、「Our Way」の価値観――誠実、尊重、自分事、果敢、そして共創――を、私たちがどこで働いていようとも、どのような役割を担っていようとも適用できる、明確かつ実践的な指針へと落とし込んだものです。これは、人、社会、そして地球の持続可能な幸福に貢献するという当グループの「KAITEKI」哲学を具現化するものです。「KAITEKIイノベーションパートナー」であるということは、私たちの科学的伝統と、責任を持って革新を行う勇気、そして共にそれを実現するための謙虚さを結びつけることを意味します。

この行動規範と、それが生み出す企業文化は、私たち自身のものです。すべての同僚の皆さんには、この行動規範を読み、チーム内で率直に議論し、日々の意思決定に反映させるようお願いします。コンプライアンスは、私たち全員の果たすべき責任です。正しい方法で事業を行うために、一人ひとりが尽力してくださっていることに感謝します。

マルコム・キッド
EMEA地域責任者



> 私は、この行動規範を支持できることを誇りに思います。コンプライアンスは単なる義務ではなく、競争優位性の源泉であり、私たちのアイデンティティの証でもあります。

誠実さをもって行動する組織は、信頼を獲得し、優秀な人材を引き寄せ、維持し、顧客、規制当局、ステークホルダーとの永続的な関係を築くことができます。本行動規範は、その取り組みの礎であり、「Our Way」の価値観を具体的に体現したものです。

本行動規範は、EMEA地域の事業に携わるすべての従業員、管理職、役員に適用されるものであり、お客様、サプライヤー、ビジネスパートナー、規制当局が当社に期待する基準を反映したものです。実用的で理解しやすく、業務で直面する実際の状況に即した内容となるよう設計されています。 研究室、製造工場、倉庫、オフィスのいずれにいても、本規範は、正しい意思決定を行い、健全な判断と責任あるイノベーションを融合させることで「KAITEKIイノベーションパートナー」となるという、当社のKAITEKI哲学を実践するための共通の枠組みを提供します。

皆さんには、この行動規範を日々の実践的指針として活用していただきたいと思います。判断に迷ったときはいつでも、立ち止まり、考え、読み、問い、そして行動しましょう。法務・コンプライアンス部門は、私たちをサポートするために存在しています。 また、報復を恐れることなく、誰もがいつでも利用できる秘密保持された通報窓口も常時開設されています。私たちの価値観はすべて相互に関連しており、主体性と勇気は表裏一体です。一人ひとりが自らの行動に責任を持ち、声を上げる勇気を持つとき、私たちは社員、事業、そして評判を守ることができるのです。共に、私たちは、永続するコンプライアンス文化を築いていきます。

ルーク・フェラン
ゼネラルカウンセル兼最高コンプライアンス責任者



コンプライアンスの在り方と実践

本行動規範（以下「本規範」）は、日々の意思決定における実践的な指針です。これは、私たちが正しい行動をとる助けとなり、企業として何を重視しているかを再認識させてくれます。

本規範は、EMEA地域において三菱ケミカルを代表して事業を行う際の行動に関する基本的な指針を定めており、責任ある行動と倫理的な意思決定が最も重要となる状況において、私たちが適切な判断を下せるよう支援するものです。何よりも、本規範は「KAITEKIイノベーションパートナー」であることの真髄、すなわち、伝統を尊重し、革新を推進し、互いにパートナーシップを築いていくことを反映しています。

本規範は、EMEA地域における三菱ケミカルの過半数出資会社内に属する私たち全員に適用され、従業員と会社の双方を保護するものです。私たちが互いに協調して働けるよう、すべての管理職には、同僚が本規範を認識し、理解し、これらの基準を遵守するよう徹底することが期待されます。本規範において、「私たち」、「私たちの」および「従業員」とは、EMEA地域のすべての三菱ケミカルグループ企業のすべての取締役、役員、従業員、労働者、派遣社員、見習い、インターン、および当社の指揮命令の下で就業する者を指します。本規範の遵守は、雇用または業務従事関係の条件であり、これに違反した場合は、解雇を含む懲戒処分の対象となるほか、その行為が違法である場合には、所管当局への通報の対象となる場合があります。

本規範や社内規則だけでは、あらゆる状況を網羅することはできません。業務上の判断を下す必要がある際に迷いが生じた場合、次のことを心に留めてください：



この規範は、私たちの事業運営に関する共通の指針です。私たちは頻繁にこの規範を参照し、そこに盛り込まれたテーマをさらに詳細に規定した社内規則とともに、同僚と議論を重ねています。

行動を起こす前に、私たちは次のように自問します。

- これは合法か、そして本規範および社内規則に合致しているか？
- それは、社員、近隣住民、顧客、そして環境にとって安全なものか？
- それは誠実な行為か、また、書面による記録は実際に何が起こったかを正確に反映しているか？
- これが公に報告されたり、規制当局や監査人に説明されたりしても、私は気兼ねなくいられるだろうか？
- 同僚が同じことをしても、私は納得できるだろうか？
- これらの質問のいずれかに対する答えが「いいえ」である場合、あるいは確信が持てない場合は、一旦立ち止まって尋ねます。



Our Way: 私たちが掲げる理念

誠実

私たちは、たとえ誰にも見られていないときでも、誠実であり、透明性を保ち、倫理を重んじます。

尊重

私たちはすべての人を公平に扱い、違いを尊重し、互いの声に耳を傾けます。

自分事

私たちは、自らの行動、不作為、そして決定に対して責任を負います。

果敢

私たちは率直に意見を述べ、間違っていることには異議を唱え、新しいアイデアを積極的に取り入れます。

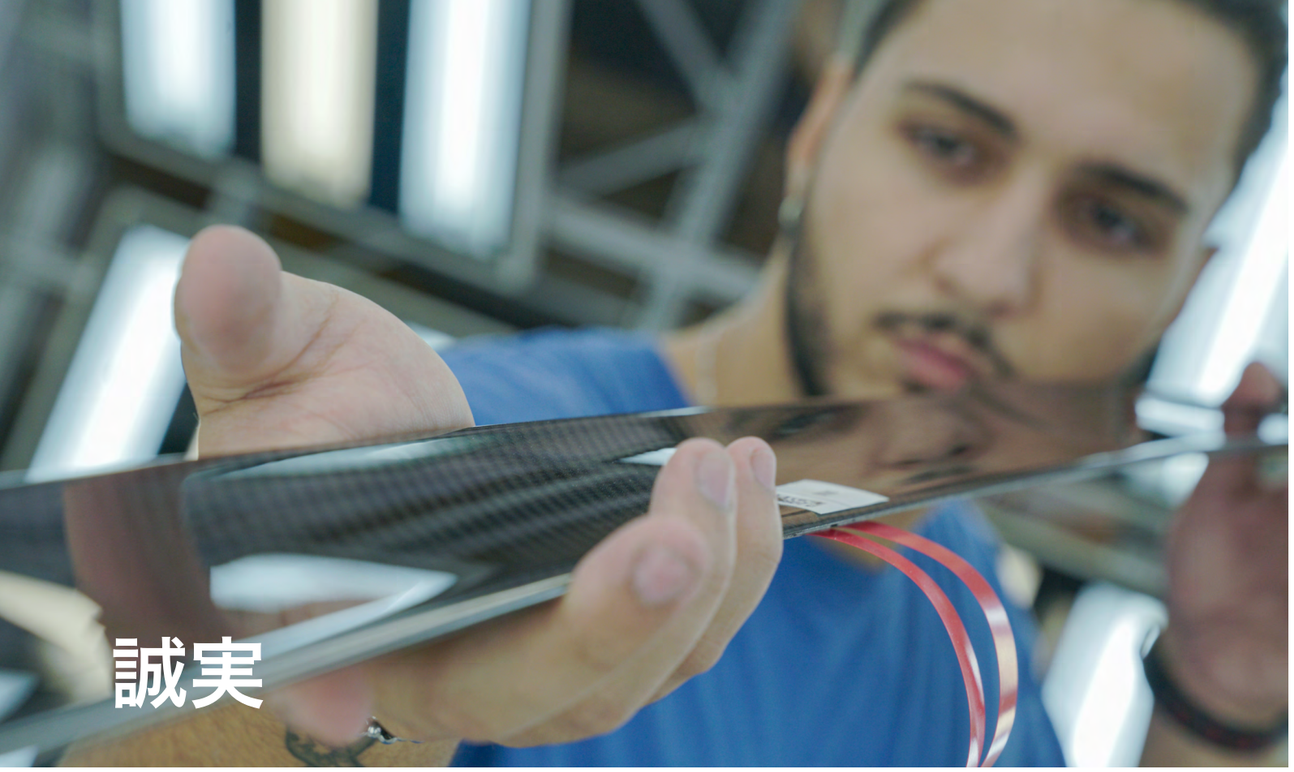
共創

共に働き、疑問を投げかけることこそが、コンプライアンスを確保する方法です。

これら5つの相互に関連した価値観こそが、「KAITEKIイノベーションパートナー」であることの真髄です。

「KAITEKI」は私たちの伝統を象徴し、「イノベーション」は前進する勢いを表し、「パートナーシップ」は、単独で行動するよりも共に取り組むことでより大きな成果を上げられることを思い出させてくれます。「KAITEKI」は当グループの基本理念であり、人々と地球のために社会的、環境的、経済的な長期的価値を創造するというコミットメントであり、私たちを導き、責任ある行動、持続可能な思考、そして現在および将来の世代にわたって社会の幸福を支えるような革新的な取り組みへと向かわせます。

「KAITEKIイノベーションパートナー」であるということは、私たちのあらゆる意思決定を形作ります。私たちは、それぞれの選択が社会に対する私たちの長期的な影響に寄与し、法的および倫理的な義務を伴うことを理解しています。私たちは、短期的な利益よりも環境や社会の福祉を支える行動を優先し、将来の世代を念頭に置きながら、リーダーシップと責任感を持って課題に取り組み、顧客、同僚、サプライヤー、そして地域社会に対して、信頼の基盤となる配慮と敬意をもって接します。以下のセクションでは、私たちがそれぞれの価値観を実際にどのように実践しているかをご紹介します。



誠実

「誠実」とは、たとえ誰にも見られていないときでも、正直であり、透明性を保ち、倫理的に行動することを意味します。

法令および社内規則を遵守する

私たちの取り組み：

私たちは、事業を展開するあらゆる場所で、適用されるすべての法律、規制、および社内規則を遵守し、正しい方法で事業を行います。

- 私たちは、自身の役割や勤務地に適用される法律や社内規則を把握しており、不明な点があれば、上司やコンプライアンス部門に相談します。
- 法律や社内方針の変更について常に最新情報を把握し、必要な研修はすべて速やかに受講します。
- 要件が不明確だったり重複していたりする場合、特に規制の厳しい分野においては、積極的に指導を求めます。
- 私たちは、当社の製品に適用される登録、評価、認可、および制限に関するすべての要件を満たすため、所定のプロセスに従い、適切な時期に当該ステークホルダーを巻き込みます。
- 私たちは決して規則を無視したり、過ちを隠したりすることはありません。

あなたならどうしますか？
長年の顧客から、当社の社内規則とは相容れないと思われる地元の商慣習に従うよう求められました。これが規則に違反するかどうかは不明であるため、私たちは一旦立ち止まり、指示を仰いでから対応を進めます。

利益相反

私たちの取り組み：

私たちは、会社の最善の利益のために行動し、個人的な利害が客観的なビジネス上の判断に干渉する、あるいは干渉しているように見えるような状況を回避します。

- 業務上の意思決定に影響を与える可能性のあるあらゆる関係や社外活動については、直属の上司に書面で開示します。
- 私たちは、自身の立場を利用して、自分自身、家族、または友人のために個人的な利益を得ようとはしません。
- 客観性を保てない場合は決定から身を引きます。また、個人的なつながりがあるサプライヤーや顧客に影響を与える決定への関与は避けます。
- 私たちの公平性を損なうおそれのある、第三者からの個人的な利益は受け取りません。
- 利益相反のリスクをどのように軽減するかについて、直属の上司と書面で合意し、その軽減策を実施します。

私たちの方針：
自分のパートナーが潜在的なサプライヤーを所有し、そこで勤務していることを上司に書面で報告し、上司はそのサプライヤーに関わる意思決定には参加しないことを記録します。

あなたならどうしますか？
親しい友人が、当社の入札に参加している企業に就職しました。自分には決定権はありませんが一定の影響力があり、自ら関与を控えるべきか判断がつかないため、その事実を開示し、どうすべきか相談します。

贈収賄および汚職に対する不寛容

私たちの取り組み：

公的機関の職員との取引であれ、民間企業との取引であれ、いかなる形態の贈収賄や汚職も一切容認しません 。

- 私たちは、直接的または間接的を問わず、ビジネス上の決定に影響を与えるために、価値のあるものを提供、約束、贈与、または受領することは決してありません。
- 合理的であり、かつ決定を左右する意図が一切ない贈答品や接待のみを提供または受領し、判断に迷う場合は承認を求めます。
- 私たちは、現地の法律および当社の「贈収賄防止規則」を遵守します。
- 公務員、規制当局、税関、および政府系機関とのあらゆる直接的・間接的なやり取りにおいて、厳格な透明性および承認要件を遵守することを徹底します。
- 私たちは、たとえそれが文化的に一般的である場合や、当社に代わって行動する第三者から要求された場合であっても、日常的な手続きを迅速化するための少額の非公式な支払いである「便宜供与金」を拒否し、決して提供または約束することはありません。

あなたならどうしますか？
契約交渉中に、ベンダーからチームの夕食代を支払うと申し出がありました。私たちは丁重にお断りし、贈答品や接待に関するポリシーを説明しました。

公正な競争（独占禁止）

私たちの取り組み：

私たちは、誠実かつ公正に、そして独立して競争します。競合他社と価格、生産量、顧客、販売地域、あるいは技術戦略について調整を行うことはありません。また、市場支配力を濫用することもありません。

- 価格設定、市場戦略、事業計画などの商業上機微な情報を競合他社と共有することは決してありません。
- 価格の固定、市場分割、生産量の調整といった、競争を制限しうる合意や行為は避けます。
- 競合他社、販売代理店、または顧客との話し合いが、価格、利益率、生産能力、割り当て、あるいは将来の戦略といった機微な話題に逸れた場合は、明確に会話を打ち切り、会議や電話を終了し、その状況（誰と、いつ、どこで、どのような話題が取り上げられたか）を記録した上で、できるだけ早く法務部門に報告します。
- 生産能力、コスト、生産量、リードタイム、原材料の調達、顧客への割り当てなど、商業上機微な話題については、会議、業界団体、業界イベントなどで、たとえ非公式な場であっても、競合他社と話し合ってはいけません。
- 業界団体や業界イベントへの参加は、安全、規制、基準など正当な目的の場合にのみ行い、競争に関する話題は厳格にタブーとします。

あなたならどうしますか？
業界団体の会議で、機微なコストデータを明らかにしかねないベンチマーク調査が提案されました。これは合法かもしれませんがリスクも伴うため、参加する前に法務部門に確認します。

インサイダー取引

私たちの取り組み：

私たちは、機密情報や非公開情報を利用して個人的に利益を得ることや、他者がそれによって利益を得ることを許しません。

- 内部の機密情報に基づいて有価証券の売買を行うことは決してありません。
- 機微な事業情報を、家族、友人、または社外の第三者と共有することはありません。
- ある情報が「インサイダー情報」に該当するかどうかわからない場合は、常にコンプライアンス部門に相談します。
- 公共の場やセキュリティが確保されていない環境では、機密事項について話し合うことを避けます。
- また、インサイダー情報に基づいて取引を行うよう他者に勧誘したり誘導したりせず、また、職務の適切な遂行以外では、社内外を問わずいかなる者に対してもインサイダー情報を開示しません。
- インサイダーリストに登録された、あるいは取引禁止期間が適用されると通知された場合は、通知された制限に従い、影響を受ける有価証券を取引する前に法務部門に確認します。

あなたならどうしますか？
ある取引の可能性に関する断片的な情報を耳にし、それが「インサイダー情報」にあたるかどうか確信が持てない場合、当該有価証券の取引を行う前にコンプライアンス部門に確認します。

マネーロンダリング対策

私たちの取り組み：

私たちは、自社の製品、システム、および金融チャネルが、マネーロンダリング、テロ資金供与、またはその他の違法行為に利用されることを防止します。

- 顧客、サプライヤー、およびパートナーの身元と正当性を確認します。
- 不審な取引、異常な支払い構造、または顧客情報の不一致については報告します。
- 承認のない現金支払いや間接的な支払い方法は受け付けません。
- 取引には、商品の移動と整合した明確な商業的根拠があることを確保します。
- 適用されるすべてのマネーロンダリング防止に関する法律および規制を遵守します。

私たちの方針：
お客様の身元や所有者が不明確な場合は、販売を中止いたします。

政治活動、ロビー活動、慈善寄付および スポンサーシップ

私たちの取り組み：

私たちは、合法的にかつ透明性をもって公共政策の議論に参加します。政治献金は行わず、当社の慈善寄付やスポンサーシップが、ビジネス上の優位性を獲得したり報いたりするために利用されることは決してありません。

- いかなる政党、委員会、候補者、または公職者に対しても、会社の資金、資産、サービス、または労働時間の提供を行わず、またその提供を約束することもありません 。
- 私たちは、個人的な政治活動を職務と完全に分離し、それに関連して会社の資源、施設、ブランド、または役職名を使用しません。
- 慈善寄付、スポンサーシップ、または地域社会への貢献については、事前にコンプライアンス部門の承認を得て、帳簿に正確に記録します。また、ビジネスチャンスに関連して、顧客、公務員、またはその他の取引相手から要請されたり、指示されたり、あるいはそれらに利益をもたらすような寄付等は決して行いません。
- 私たちは、業界団体への加盟および参加にあたっては承認を取り、正当な目的に限定されるよう徹底しています。



あなたならどうしますか？
ある公職者が、地元の財団への寄付があれば許可が「スムーズに進む」とほのめかした場合、私たちは直ちにコンプライアンス部門に報告します。

あなたならどうしますか？
顧客の家族と関係のある地域の慈善団体から、スポンサーシップの依頼がありました。その目的は正当なものですが、時期が入札と重なっているため、承認を求め、記録に残します。

正確な記録の保持

私たちの取り組み：

私たちは、誠実かつ完全で、正確かつ最新の記録を維持します。

- 財務報告書、会計記録、研究報告書、生産、規制および品質に関する記録、販売報告書、経費精算書、タイムシート、保守記録、ログブック、システム、およびその他の文書が、完全かつ正確であり、正しい日付が記載され、関連する事実および取引や活動の真の性質を正確に反映していることを保証します。
- 私たちは、いかなる会社の記録においても、情報を偽造したり、虚偽の記載を行ったりすることは決してありません。
- 私たちは、法的保存義務を含め、適用される保存期間に従って記録を特定し、保管し、保持します。
- 私たちは記録を安全かつ機密に管理しています。
- 私たちは、生産、品質、安全、財務、法務、および規制に関する文書が、結果や事実を正確かつ検証可能な形で反映するよう徹底しています。

私たちの方針：
私たちは、書類の遡及日付記入を一切行わず、記録の削除、改ざん、または破棄も行いません。

対外コミュニケーション

私たちの取り組み：

私たちは、責任を持って、透明性があり、正確かつ一貫性のあるコミュニケーションを図り、権限のある個人のみが会社を代表して発言するよう徹底します。

- 私たちは、明示的に許可されている場合を除いて、会社を代表して公の場で発言することはありません。
- すべての対外的なコミュニケーションが、完全かつ正確で、最新のものであり、誤解を招くものでないことを保証します。
- 当社や当社製品に言及するプレゼンテーション、出版物、あるいは会議への参加については、事前に承認を得るよう徹底します。機密情報、機微情報、または専有情報を社外に開示しません。
- 個人のソーシャルメディアアカウントの利用には細心の注意を払い、個人的な意見が決して会社の見解として表れないようにします。

あなたならどうしますか？
あるジャーナリストから、業界の動向について簡単なコメントを求めて直接連絡がありました。私たちはその件について詳しい知識を持っていますが、会社を代表して発言する権限がないため、広報部門に紹介します。

> KAITEKI イノベーション・パートナーであるということは、私たちのストーリー-つまり人、社会、そして地球のために持続可能な価値を生み出すこと-を実践することを意味します。私たちは、行動、意思決定、そして価値観へのコミットメントを通じて信頼を獲得します。継続的なパートナーシップは、私たちの誠実さに支えられています。

ファレティン・ドガン
副社長 – コンポジットパーツ
アドバンストコンポジット＆シェイプス部門





尊重

「尊重」とは、すべての人を公平に扱い、違いを大切にし、互いの声に耳を傾けることを意味します。

人権を尊重する

私たちの取り組み：

人権の保護は、当社の事業活動の根幹をなすものであり、私たちはすべての人々が尊厳と敬意をもって扱われるべきであると信じています。少なくとも、私たちは『世界人権宣言』および国際労働機関（ILO）の『労働における基本的原則および権利に関する宣言』を尊重することを約束します。また、国連の『ビジネスと人権に関する指導原則』、国連グローバル・コンパクト、およびOECDの『多国籍企業行動指針』を支持しています。

- すべての人を公平に、敬意と尊厳をもって扱います。
- 強制労働、義務労働、児童労働のない、安全で健康的な労働条件を確保します。
- 法律で認められている範囲内で、労働組合を含む組織に加入する権利、または加入しない権利を尊重します。
- あらゆる関わりにおいて、同僚、顧客、およびパートナーのプライバシーと尊厳を保護します。
- 地域社会や先住民族の権利を尊重し、水質汚染の防止などを通じて環境を保護します。
- 私たちは、ドイツのサプライチェーン・デューデリジェンス法（LkSG）、国内法化されたEU企業持続可能性デューデリジェンス指令、および英国の2015年現代奴隷法など、適用される法令で義務付けられている人権および環境に関するデューデリジェンスを実施しています。

私たちの方針：
サプライヤーの事業所で、安全でない労働環境や強制労働の兆候が見られる場合は、直ちに懸念を提起します。

他者を尊重する

私たちの取り組み：

私たちは、誰もが尊重され、大切にされ、受け入れられていると感じられる職場を信条としています。

- 私たちは包摂的であり、すべての人を公平に、敬意と尊厳を持って扱います。人種、肌の色、宗教、国籍または出身地、性別（妊娠を含む）、性的指向、性自認または性表現、年齢、身体的または精神的な障害など、法的に保護されているいかなる理由に基づくものであっても、冗談、発言、行動、または不作為を含むあらゆる種類の差別を容認しません。
- 言葉によるもの、心理的なもの、身体的なものを問わず、ハラスメント、いじめ、虐待、暴力、または暴力の脅威に加担したり、見過ごしたりすることは決してありません。セクシャルハラスメントは、ハラスメントの中でも特に深刻な形態です。
- 私たちは、採用、雇用、給与、職務割り当て、昇進など、雇用のあらゆる側面において、すべての従業員および応募者に平等な機会を提供します。

あなたならどうしますか？

同僚が繰り返し冗談を言うことで、あるチームメンバーが不快に感じていますが、その同僚は軽い気持ちで言っています。一線を越えているかどうかは不明であるため、敬意を持ってその問題に対処し、必要に応じて人事部門の指導を求めます。

データの保護およびプライバシー

私たちの取り組み：

私たちは、個人情報および機密情報を保護します。

- 私たちは、EU一般データ保護規則（EU）2016/679）、英国のGDPRおよび2018年データ保護法、ならびにEMEA地域における同等の国内法、および当社のデータ保護方針を遵守しています。また、処理活動を記録し、必要に応じてデータ保護影響評価を実施します。
- データの保存および共有には承認されたシステムのみを使用し、業務に個人のデバイスや未承認のアプリを使用することはありません。データ侵害の疑いがある場合は、直ちに報告します。
- 正当な業務上の理由があり、かつ適用されるデータ保護法に基づく有効かつ合法的な根拠がある場合にのみ、個人データを収集または共有し、当該個人に通知された目的のためにのみ使用します。個人情報や機密情報へのアクセスは、正当な業務上の目的でそれを必要とする者に厳格に限定します。
- 私たちは、データ処理、転送、および保存がすべての関連規制に準拠していることを確保し、データが国境を越える際には、追加の規則が適用されることを認識しています。私たちは、国際的なデータ転送や第三者による処理を行う際には、適切なデータ転送契約（標準契約条項など）を締結し、また、データを共有する前に、第三者のデータ保護リスク評価を実施します。
- 人工知能（AI）ツールや自動化された意思決定システムを利用する際、私たちは、個人データが適法に処理され、有意義な人的監督が維持され、その利用が当社の規則および適用されるEU AI法の下で許可されていることを確実にします。また、承認されていないAIツールに、機密情報、専有情報、または個人データを入力することは決してありません。

私たちの方針：

適切なセキュリティ対策を実施し、人事データへのアクセスを権限のあるスタッフのみに制限しています。

> 当社の長期的な成功は、社員同士、顧客、ビジネスパートナー、規制当局、そして当社がサービスを提供する地域社会からの信頼にかかっています。当社の行動規範は、私たちの行動指針となる約束を定めており、倫理的な意思決定を行い、価値観を守り、責任を持って事業を行うことを支援します。

トーマス・ヘール
EMEA 地域 ポリエステルフィルム事業部長





自分事

「自分事」とは、私たちの行動、不作為、および決定に対して責任を負うことを意味します。

自分事として取り組む

私たちの取り組み：

私たちは、自らの行動と決定に対して責任を負います。

- 私たちは率先垂範します。リーダーには、特に困難な状況においても、コンプライアンスを遵守した形でコミュニケーションを取り、行動することを求めています。
- 万が一ミスを犯した場合は、速やかにそれを認め、解決に向けて協力します。
- 監査や顧客からの質問によってリスクが表面化するのを待つのではなく、安全、データプライバシー、サイバーセキュリティおよびコンプライアンス上のリスクを先回りして予測します。
- 是正措置を徹底し、改善が完全に実施され、文書化されていることを確認します。
- 自らの貢献を誇りとし、結果に対して責任を持ちます。
- 各自の責任範囲内のリスクを特定、評価、管理し、伝達します。重大なリスクは速やかに上層部に報告し、不測の事態の発生確率と影響を低減するための適切な管理措置を講じます。
- 統制機能がその職務を遂行するために必要な独立性を確保します。

あなたならどうしますか？

まだ問題を引き起こしていない小さなプロセスの不備に気づきました。今すぐエスカレーションすべきか判断がつかないため、監査を待つのではなく、先手を打って報告します。

チームを率いる立場にあるなら、私たちにはより多くのことが期待されます：

- 模範を示さなければなりません。行動規範に何が書かれていようとも、私たちが容認する行為が基準となってしまいます。
- 直属の部下がこの行動規範を理解し、研修を修了し、懸念事項を報告する方法を把握していることを確実にします。
- 目標、納期、予算を達成するために、安全、品質、コンプライアンスを犠牲にするよう誰にも求めず、また誰にも許しません。そして、いかなる目標もそれを正当化するものではないことを、チームに確実に認識させます。
- コンプライアンスに関する通報があった場合は、それを真摯に受け止め、記録し、コンプライアンス部門に引き継ぎます。
- コンプライアンス通報について独自に調査を行うことはなく、報告を妨げたり、遅らせたり、選別したりすることは決してありません。
- コンプライアンス通報を行った人物を保護します。



安全

私たちの取り組み：

私たちは、責任ある事業運営とリスク予防を通じて、従業員、請負業者、顧客、地域社会、および来訪者を保護し、最高水準の安全を確保することに尽力します。

- 安全な施設、手順、作業方法を確保するとともに、個人の安全を重視するアプローチを採用することで、安全を維持しています。
- リスクの排除を基本とし、必要に応じてリスク制御を行うというリスク管理アプローチを採用しています。
- 承認された安全な運転限界を超えて、起動、再起動、または運転を継続することはありません。たとえ遅延によって商業的に不都合が生じても同様です。
- 変更管理、作業許可、および隔離手順を例外なく遵守します。
- たとえ些細なものであっても、すべての封じ込めの喪失やプロセス上のヒヤリハットを報告し、それらを説明することよりも、そこから学ぶことをより重要視します。
- 安全でない状況、ヒヤリハット、および機器の故障は直ちに報告します。
- 安全でないと思われる状況では、たとえ業務に遅れが生じても作業を中止します。
- 必須の安全研修に参加し、安全第一の姿勢を貫きます。
- アルコールや薬物の影響下では作業を行わず、違法薬物や規制薬物の使用、配布、販売、所持は一切行いません。

あなたならどうしますか？

機械の動作が異常ですが、まだ稼働しており、停止すると出荷が遅れてしまいます。本当に危険かどうかは定かではありませんが、リスクを冒すよりは、作業を停止して報告します。

> 毎日、全員が安全に帰宅できるように

グラハム・ヒル
MCE EHSおよび業務改善



知的財産を含む企業資産の保護

私たちの取り組み：

私たちは、有形資産、財務資産、デジタル資産、知的資産を含むすべての企業資産を保護し、それらが責任を持って利用され、紛失、盗難、または不正使用から守られるようにします。

- 設備、資金、技術、施設などの会社の資産を、正当な事業目的のためにのみ使用します。
- 有形資産を大切に扱い、破損、紛失、盗難が発生した場合は直ちに報告します。
- 強固なパスワードの使用、IT セキュリティプロトコルの遵守、アクセス認証情報の共有禁止、および会社の指針に沿った承認済みの人工知能ツールのみの使用により、デジタル資産を保護します。
- 知的財産を尊重し、会社または第三者の発明、特許、商標、著作権で保護された資料を許可なく複製、共有、または使用しません。
- 当社のノウハウや営業秘密を厳重に保護し、承認され、かつ適切な保護措置が講じられている場合を除き、社外に開示することはありません。
- ・ 顧客、サプライヤーおよびパートナーに関する非公開情報を保護し、また、顧客、サプライヤーおよびその他の第三者から委託された機密情報を、自社の情報と同等の基準で保護します。承認がない限り、元雇用主やその他の当事者に属する機密情報を受け取ったり、使用したり、持ち込んだりしません。
- 守秘義務は、雇用関係または業務従事関係が終了した後も継続し、退職時にはすべての会社情報、端末、および備品を返却します。

私たちの方針：

アクセス認証情報を決して共有せず、会社の指針に沿って承認されたAIツールのみを使用します。

あなたならどうしますか？

新しいオンラインツールを使えば業務が効率化されるでしょうが、そのデータ利用規約が不明確です。会社の情報に それを 使用する前に、IT部門に確認します。



製品の品質

私たちの取り組み：

私たちは、規制、安全、および品質基準を満たす製品とサービスを提供します。

- 業務が、品質および安全に関する社内基準、規制基準、契約基準を満たすよう確保します。
- 品質と安全性を向上させるための改善策を提案します。
- 承認された原材料の認証、配合、レシピ、作業指示書、およびプロセスパラメータを、逸脱することなく遵守します。
- 分析証明書、仕様書、バッチ記録、規制当局向け申告書等の必要なすべての品質関連文書が完全かつ正確であり、適切に管理されるよう徹底し、お客様や規制当局が当社のデータを信頼できるよう努めています。
- 自社製品に対する厳格な品質および性能要件を満たし、その実績を文書化しています。

私たちの方針：

結果が「良好に見える」ようになるまで再試験を繰り返すのではなく、試験の不合格を報告します

製品管理およびレスポンシブル・ケア

私たちの取り組み：

私たちは、「レスポンシブル・ケア® グローバル憲章」に則って、研究や原材料の選定から、製造、輸送、使用を経て、廃棄およびリサイクルに至るまでの製品のライフサイクル全体にわたって、製品の安全性に対する責任を負います。

- 物質および混合物が市場に投入される前に、REACH、CLP/GHS、および同等の各国の化学物質関連法規に基づき、適切に登録、分類、表示、包装されることを確実にします。
- 製品の安全性に関して問題や懸念事項を発見した場合は、直ちに報告します。
- 製品のライフサイクル全体を通じて製品リスクを継続的に評価し、新たな情報が得られた際には適切な措置を講じます。
- 私たちは、顧客および下流ユーザーに対し、正確かつ最新の安全データシート（SDS）および取り扱い情報を提供し、物質に関するお問い合わせには迅速に対応します。
- お客様からの苦情、製品に関する事故、および製品の安全性に関する懸念については、速やかに調査を行い、適切な是正措置を講じます。
- 新製品や新規用途、実施前のプロセス変更について、その危険性とリスクを評価し、想定される用途が評価範囲外である場合は、上層部に報告します。



- 責任ある鉱物調達、および、医療、食品接触、航空宇宙、防衛用途向けの製品に関する当社の要件を適用しています。

あなたならどうしますか？
顧客から、評価や登録されていない用途向けの製品の購入依頼がありました。注文を受け付ける前に、その依頼を製品スチュワードシップ部門および法務部門に照会します。

環境への責任と持続可能性

私たちの取り組み：

私たちは、将来世代に対する「KAITEKI」の責任を反映し、環境への影響を最小限に抑え、持続可能性を支援するよう努めています。

- 日々の業務において、安全および環境に関する法律や方針を遵守します。
- 廃棄物の削減、再利用、リサイクルの方法を模索します。
- サステナビリティプログラムに参加し、必要な管理措置を実施するとともに、改善案を提案します。
- 廃棄物、排出物、および化学物質の取り扱い慣行が、規制基準および社内手順を満たすか、あるいはそれを上回ることを確保します。
- 私たちは、製品のライフサイクル全体（クレイドル・トゥ・ゲート）にわたって環境負荷の低減に寄与する材料、工程、およびサプライヤーの選定を優先します。
- 環境事故、許可条件の超過、漏えいおよび排出を直ちに報告し、再発防止のための調査に参加します。

あなたならどうしますか？
より安価なサプライヤーの方が環境フットプリントはよくありませんが、コストと当社の「KAITEKI」への取り組みをどのように天秤にかけるべきか判断がつかないため、サステナビリティ評価のためにこの問題を提起します。

輸出管理

私たちの取り組み：

私たちは、すべての輸出管理に関する法令および規制を遵守しています。

- 私たちの業務において製品、技術、または情報を国境を越えて移動させる場合、私たちは関連する制限事項を把握し、製品、技術、または技術データを移転する前に、ライセンスおよび制裁対象者について確認を行います。
- 疑義がある場合は、国際的な出荷や情報の共有を行う前に、輸出管理部門または法務部門に確認します。
- 私たちは、EU、英国、米国、国連の制裁体制を含む、適用されるすべての制裁および制限措置を遵守します。取引の締結または実行に先立ち、適用されるリストに基づいて取引相手および仲介業者をスクリーニングし、制裁リスクが懸念される場合は、手続きを進める前に輸出管理部門または法務部門に報告します。
- 研究開発データ、仕様、配合、プロセスパラメータ、ソフトウェアなど、規制対象となる技術情報は、輸出管理上の許可を確認することなく、他国の同僚、販売代理店、顧客、またはパートナーと共有することはありません。
- 私たちは、すべての顧客およびエンドユーザー—特に防衛、航空宇宙、半導体などの高リスク分野の顧客やエンドユーザー—を審査・承認し、注文を受け付けたり技術サポートを提供したりする前に記録を残します。
- 私たちは、輸出書類の作成、製品の分類、ライセンス申請、デュアルユースの評価、および記録管理について、社内手順に従い、トレーサビリティと規制遵守を確保します。

私たちの取り組み：
国境を越えて同僚と技術情報を共有する前に、輸出管理要件が満たされていることを確認します。

第三者との取引およびサプライチェーン

私たちの取り組み：

私たちは、倫理的かつ責任ある姿勢で事業を行い、適用される法令および業界基準を遵守する、信頼できる第三者とのみ取引します。

- サプライヤー、販売代理店、代理店、および請負業者と取引を開始する前にデューデリジェンスを実施し、取引期間中もこれを継続して行います。
- 輸出管理、贈収賄防止、安全、マネーロンダリング防止、および品質に関する要件の遵守を第三者に徹底します。
- 第三者のパフォーマンスを監視し、その行動が期待から逸脱した場合は懸念を提起します。
- 私たちが自ら行うことが禁止されている行為については、決して第三者を通じて行うことはありません。
- 不審な支払い要求、透明性の欠如、書類の提出拒否など、不審な点があれば直ちに報告します。
- 法務部門と連携し、第三者に関する当局や規制機関、政府による調査に対して、法に則り全面的に協力します。

あなたならどうしますか？
あるエージェントが、現地の慣行を理由に特定の書類の提出を拒否しました。これが真の障壁なのか、それとも危険信号なのか判断がつかないため、オンボーディングを一時停止し、法務部門に相談します。

政府機関からの照会

私たちの取り組み：

私たちは、適切な手続きを通じて法的権利を保護しつつ、当局と専門的かつ透明性を持って協力します。

- 法的要件および当社の権利に則り、当局に完全かつ明確で最新の情報を提供します。
- 抜き打ち検査（ドーンレイド）が行われた場合は、適用される手続きに従い、速やかに法務部門に事案を報告します。
- 法務部門の支援のもと、当局からの情報提供要請、ファイルへのアクセス、および書面による質問に対して協力します。
- たとえ不利な内容であると思われる場合でも、文書、電子メール、その他の情報源を一切破棄しません。
- 自身の直接的な知識の範囲外や、検査とは無関係な情報については、自発的に追加情報を提供したり、質問に答えたりすることはありません。

私たちの方針：
検査官から、秘匿特権の対象となる可能性のある書類の提出を求められた場合、何を提出すべきか判断がつかないときは、回答する前に法務部門に相談します。

行動規範の理解と実践

私たちの取り組み：

本行動規範は、コンプライアンス部門が所有、維持、および施行するものです。これは当社のEMEAガバナンス・フレームワークの最上位に位置し、各種社内規則によって支えられています。

- 私たちは行動規範の研修を修了し、所定の期限までに割り当てられた確認書に署名します。確認書の提出は全ての職員に義務付けられており、監査可能な証拠として保管されます。
- 本規範への違反は、解雇を含む懲戒処分の対象となるほか、個人としての民事上または刑事上の責任を問われる可能性があることを理解しています。
- 本規範が三菱ケミカルのグローバル・ガバナンス文書と異なる場合、現地法に別段の定めがない限り、グローバル・ガバナンス文書が優先します。また、現地法が本規範よりも厳格な場合は、現地法に従い、法務部門に報告します。
- 本規範のいかなる規定も、EMEA 地域のゼネラルカウンセルおよび最高コンプライアンス責任者による書面による承認がない限り、その適用を免除されたり、例外が認められたりすることはありません。取締役または役員に有利な適用免除については、リージョナルマネジメントボードの承認が必要であり、ガバナンス文書登録簿に記録されます。
- 本規範の責任者は、EMEA地域のゼネラルカウンセルおよび最高コンプライアンス責任者です。本規範は少なくとも24か月ごとに見直され、現地の法律で別段の定めがある場合を除き、英語版が優先されます。

私たちの方針：
本規範と矛盾する現地の慣行に従うよう求められた場合、私たちはそれに従わず、法務部門に報告しその矛盾について評価を受けるようにします。



「果敢」とは、率直に意見を述べ、誤った事柄に異議を唱え、新しいアイデアを受け入れることを意味します。

違反の疑いに関して声を上げ報告する

私たちの取り組み：

私たちは、すべての人が率直に意見を述べ、不正に対して異議を唱えることを奨励しています。

- 何かがおかしいと感じたら、たとえ気まずい状況であっても、速やかに声を上げ、報告します。
- 改善案を提案し、当社の価値観にそぐわない慣行については疑問を投げかけます。
- ホットラインやウェブポータルなどの機密報告チャネルを利用するか、コンプライアンス部門に直接連絡するか、あるいは希望する場合は匿名で報告します。
- 報告時点でその情報が真実であると信じて、誠意をもって懸念を提起した者に対する報復行為を禁止しています。報復行為そのものが懲戒処分の対象となる場合があります。
- 懸念事項が最終的に事実と認められるか否かにかかわらず、報復行為は禁止されており、この保護は、証人、調査に協力する者および権限のある外部機関に通報する者にも及びます。
- 本規範のいかなる規定も、またいかなる契約、和解、その他の会社方針も、規制当局、法執行機関、従業員代表委員会、または従業員代表への通報やこれらとの協力を妨げるものではありません。
- 当社の通報チャネルを通じて報告された違反の疑いについては、その性質、関係国、および適用される法的要件を考慮し、適用される社内手順に従って評価および管理されます。

私たちの方針：
同僚がコンプライアンスチェックの手抜きを迫られているのを目撃した場合、その同僚が自分より上役であっても、私たちはそれを報告します。

あなたならどうしますか？
「何かがおかしい」という漠然とした違和感を覚えているものの、確固たる証拠はありません。報告する価値があるかどうか迷いますが、善意に基づいて問題を提起し、所定のプロセスによる評価に委ねます。



共創

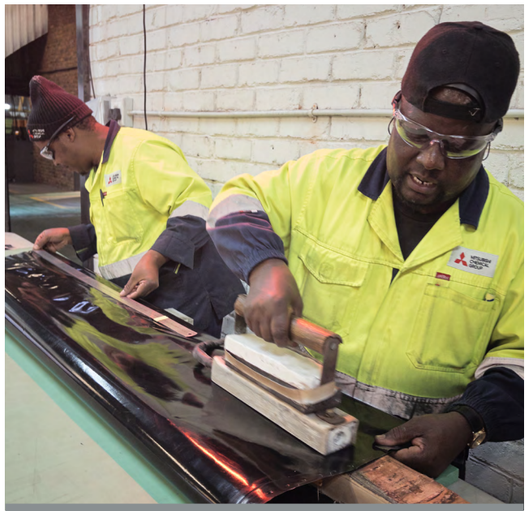
「共創」とは、共に働き、疑問を投げかけること――これこそが、私たちがコンプライアンスを確保する方法です。

共に実践する

私たちの取り組み：

私たちは、成功はチーム一丸となって成し遂げるものであり、他部門の同僚と連携を取ることで、的確な評価と迅速な意思決定が可能になると考えています。

- 私たちは率直にコミュニケーションを取り、同僚と知識や情報を共有します。
- 同僚がそれぞれの役割を遂行できるよう、完全かつ正確で最新の情報を適時に提供します。
- 顧客や規制上の要件が重複する場合、部門ごとに孤立して対応するのではなく、部門横断的な課題を上位に報告します。
- 特に課題が生じた際には、助けやフィードバック、励ましを提供し、チームの成果を称え、失敗からは共に学びます。
- 誤解やリスクを防ぐため、コンプライアンス、安全、規制に関する情報をチームメンバーと共有します。



私たちの方針：
他の地域の同僚が、私たちが以前に解決したコンプライアンス上の課題に直面した際には経験や資料を積極的に共有します 。

コンプライアンスの実現に向けて

私たちの取り組み：

私たちは、継続的にかつ一丸となって、強固なコンプライアンス文化を築き上げます。リーダーは自らの行動を通じて方向性を示し、私たち一人ひとりがルールを遵守し、コンプライアンスが徹底された職場環境を支えます。

- 私たちの行動がチームの基準となることを認識し、日々の意思決定において誠実さを示します。
- 研修は速やかに受講し、同僚にも同様に受講するよう奨励します。
- 決定に規制、安全、法務、またはコンプライアンス上の影響がある場合は、他の部門を巻き込み、あらゆる観点からコンプライアンスが考慮されるようにします。
- 新たな内部ガバナンスや研修がコンプライアンス遵守の行動を後押しする分野を特定します。
- 課題が生じた際には同僚を支援し、実用的な解決策の策定に貢献します。

私たちの方針：
コンプライアンスレビューを、プロジェクト開始前の後付けとして扱うのではなく、最初からプロジェクトのスケジュールに組み込みます。

> “EMEA行動規範は、単なるコンプライアンスの枠組みにとどまりません。それは、組織としての私たちのあり方、共に働く姿勢、そして私たちを特徴づける行動様式を反映したものです。”

マリー・マイヤー
EMEA 人事最高責任者





何か気になることはありませんか？声を上げましょう。

実際の、または潜在的な不正行為に気づいた場合、あるいは何かがおかしいと感じた場合は、声を上げてください。懸念の提起や報告は、いつでも、匿名または実名で、希望する言語で行うことができます。完全な証拠は必要ありません。善意で提起された合理的な懸念で十分です。

I.　通報（内部通報）とは何ですか？

通報とは、実際の、または潜在的な不正行為に関する情報を伝えることです。

通報の中には、内部通報者保護指令[1]または適用される国内法に基づく内部通報（ホイッスルブローイング）に該当するものもあります。

三菱ケミカルは、善意で懸念を提起し、または通報を行った人に対するいかなる報復も容認しません。

II.　誰が通報できますか？

誰でも通報することができます。例えば、以下の人が含まれます：

- 雇用関係がすでに終了した人を含む従業員
- 求職者、研修生、臨時労働者、サプライヤー、ビジネスパートナーおよびその従業員
- サービスを提供する自営業者、フリーランサー、請負業者、下請業者、サプライヤー
- ビジネスパートナーおよびその従業員
- 株主および統治機関の構成員
- サプライヤー、コンサルタント、販売代理店、お客様などの第三者

III. 何を通報することができますか？

適用される法令、会社の方針または倫理基準に対する、実際のまたは潜在的な違反に関して通報することができ、合理的な疑いや、そのような違反を隠蔽しようとする試みも含まれます。

IV. 通報の具体的方法は？

以下のいずれかの通報窓口を利用できます：

- **Safecall**：独立した第三者プラットフォームです。口頭または書面で、希望する言語により、本人の選択に応じて匿名、半匿名、または実名で報告できます。半匿名とは、Safecallは報告者の身元を把握しているものの、それを三菱ケミカルには開示しないことを意味します。
- 直接の対話や対面での面談を含む、コンプライアンス部門のいずれかのメンバー
- 直属の上司、関係する管理職、または現地の人事部門[2]
- EMEA Ethics メールボックス：**emea-ethics@mcgc.com[2].**

EMEAコンプライアンス・プログラム方針に従い、**潜在的な不正行為に関する通報を受けたMCG EMEAの従業員は、直ちに最高コンプライアンス責任者に報告しなければなりません。**

現地のSafecall電話番号およびオンライン報告プラットフォームは、本書に記載のQRコードから利用できます。コンプライアンス部門の連絡先はイントラネットに掲載されています。

V.　通報後はどうなりますか？

通報は、事案の性質、関係する国、および適用される法的要件を考慮して評価されます。

適用される内部通報関連法の対象となる報告については、各国法で異なる期間が定められている場合を除き、7日以内に受領確認が、3か月以内にフォローアップに関するフィードバックが届きます。その他の報告は、該当する会社の手続きに基づいて取り扱われます。

対面またはビデオ会議での面談を求めることができます。その場合の面談は、適用法で定められた期間内に設定されます。

さらに、所管当局の外部通報窓口を通じて報告することもできます。

VI. 通報者はどのように保護されますか？

私たちは、善意で（報告時点でその情報が真実であると信じて）懸念を提起した人に対するいかなる報復も禁止します。報復行為それ自体が懲戒処分の対象となる場合があります。

コンプライアンス部門は、善意で懸念を提起した人が、以下のようなあらゆる形態の報復から保護されるよう徹底します：

- 雇用または業務従事関係の終了
- 昇進の拒否
- 減給
- いじめ
- 差別
- ソーシャルメディアを通じた被害
- 免許または許可の取消し
- 否定的な人事評価 など

報復は、懸念が最終的に立証されたかどうかにかかわらず禁止されており、この保護は、証人、調査に協力する人、所管の外部当局に通報する人にも及びます。

通報は、適用法および会社の手続きに従い、秘密裏に取り扱われます。

コンプライアンス部門は、調査を実施する際、利益相反を回避するために必要な措置を講じます。

当社の通報窓口には、フリーダイヤル（現地のフリーダイヤル番号は **https://www.safecall.co.uk/file-a-report/telephone-numbers/)**/ で確認できます）、**https://www.safecall.co.uk/clients/mcc-emea/**、またはQRコードからアクセスできます。

強固なコンプライアンス文化の構築は、チーム一丸となって取り組むものです。ご質問やご提案がございましたら、コンプライアンス部門まで以下を通じてご連絡ください：**emea-ethics@mcgc.com**

注記

[1] 欧州連合法の違反を報告する者の保護に関する指令（EU）2019/1937。

[2] イタリアのMCG関係会社においては、これらは内部通報を受け付ける窓口ではありません。



MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

EMEA行動規範 — 文書番号 CO-REP-001 — 第3.0版 — 発効日：2026年12月1日
所管：EMEAゼネラル・カウンセル兼最高コンプライアンス責任者 — 次回見直し：2028年12月1日

本書は英語原文の日本語訳です。解釈に相違がある場合は、現地法で別段の定めがある場合を除き、英語版が優先します。